

令和6年度 山王保育所事業報告

1. 概要

①運営報告

- 0才児の保育所入所申込数が4月時点で7名の入園があり例年に比べ当初からの入園が多く利用定員通りの90名スタートとなった。翌月5月は0歳児が3名が加わり10名となりました。昨年より0才児の認可定員を15名としましたが、今年度は職員数との兼ね合いで最終12名迄で抑えました。
- 園長・主任が中心となり、第三者評価の受診及び初めての監査を受ける年となり書類の見直しやその取組みの意味合いのチェックなどを保育士と共にを行った。
- 不適切保育が騒がれる社会で園内の人権研修の取入れや、保育士による不適切保育のチェック表等に取り組み園としての虐待防止に取り組みました。
- 業務の効率化を図るため、仕事の簡素化や、人材の増強等積極的に取り組みました。
- 園庭の環境を見直しシェードをベランダ・園庭に設置しました。熱中症対策でこどもの安全確保及び遊びの充実に努めました。

②定 員 90名

③事業日数 293日（日曜、祝日及び12月29日より1月3日は休園とします）

④開所時間 平日7:30～18:30 土曜日7:30～18:30

⑤保育時間

（保育標準時間） 平日・土曜日 7:30～18:30

（保育短時間）	平日・土曜日	早朝保育	7:30～8:00
		通常保育	8:00～16:00
		延長保育	16:00～18:30

⑥職員数 4月時点

園長1名 主任1名 保育士19名（パート保育士6名 パート派遣保育士1名）
パート看護師2名 栄養士1名 調理員3名（うちパート調理員2名）、
環境整備2名 子育て支援員6名 計35名
嘱託医（内科・歯科）各1名（内科年3回、歯科年1回 健診）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し、人として『生きる力』を育む。
- 保護者との信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する。
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす。

③保育目標

- 乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

④クラスの編成及び職員配置	利用定員	実利用数	（4月実績）
0歳児 さくらんぼ組	7名	7名	保育士3名
1歳児 いちご組	18名	18名	保育士3名
2歳児 もも組	17名	17名	保育士3名
3歳児 くり組	16名	16名	保育士1名（3歳児対応加配保育士1名）
4歳児 みかん組	18名	18名	保育士1名（障がい児加配保育士1名）
5歳児 かき組	14名	14名	保育士1名（障がい児加配保育士1名）
合計園児数	90名	90名	保育士計14名

⑤保育内容

- 発達過程と子ども一人ひとりの育ちの背景を理解した上で、指導計画を立て、導入を大切に、子どもが興味を持ち自ら率先して活動に参加できるように保育を行い、意欲と主体性を育みました。
- リトミックでは、ピアノの音を集中して聴き即時反応や、身体の使い方を丁寧に伝えました。また、「朝の意味ある運動」では保育者や子ども同士共感し合い、子ども自らが楽しむ事を目的としました。
- 乳児期は引き続き保育士との愛着関係のもと安心して過ごせるよう「じゃれつき・運動遊び」を毎日取り入れました。
- 子ども自らが興味を持ち考え行動しようとするこども主体の保育を育めるように保育していますがまだまだ課題があります。
- 出来るだけ少人数で、緩やかな育児担当制にて保育を行いました。特に人材の配位置については雇用を増やしゆったりした環境で保育を行いました。

- リーフレット「種をまこう」を教材として月 1 回人権教育を行いました。
- 外部講師による、音楽指導（和太鼓）・英語指導・歌唱指導・サッカー指導、体育指導、絵画指導を行いました。
- 事務所前に時期ごとのコーナーを作り、保護者やこども達に向けに興味関心が持てるように意識しました。登降園の際の親子のコミュニケーションに繋がっています。

⑥家庭との連携

- 保育参加（年 2 回以上）・クラス懇談会・個人懇談会・家庭訪問・（各年 1 回）を通して保育理念、方針、クラスの取り組みを丁寧に伝え理解を求めるとともに、保護者の思いを聞き取りながら、子どもの育ちを双方で確認し合い、家庭と連携を図りました。しかし保育を楽しむ日は参加者が減っており、積極的な保護者とそうでない保護者に極端な差がありました。
- 引続きドキュメンテーションと YouTube（山王ちゃんねる）でその日の子どもの姿や保育のねらいが見える化し分かりやすく保護者に伝えました。保護者アンケートでも高評価を頂いています。
- 外国籍の子どもが全体の 40%以上在籍。互いの文化の違いを認め合いながら、外国籍スタッフによる通訳、写真などを用いコミュニケーションを図りましたが、日常の会話などで不足も感じました。
- 配慮の必要な家庭については、市内各区の子育て支援室と連携し情報を共有し、必要に応じ子ども相談センターや、ケースワーカーと共に支援を行いました。
- 発達障がいのある子どもの家庭には、保護者と一緒に個別計画を立て保育を進めます。また、療育施設と連携を図りました。また個別計画については保護者のご意向を毎月書面にてご提出頂いていましたが負担も多かったので、年 4 回に方針転換しました。
- 卒園児・転園児とその保護者への支援について、卒園・転園後も継続して行い、子どもたちを見守り、主任が相談窓口として受け付けました。
- 保護者会（さくら会）の活動についてあまり積極的ではなく立候補者もない状況です。昨年に引続き今後の存続等について話し合いを続けていきます。

⑦人材育成

- 特定の職員だけが行う仕事を極力減らし、中間層の育成を行うことで、仕事の見える化、効率化を図っています。
- 「一日の保育の流れ」や「入園のしおり」を使い主任保育士、リーダーが中心となり見直しを行いました。
- 毎週 2 回クラスミーティングの時間を設けクラス内で、互いの意見を受け止め認め合う時間を作りました。
- 園内の情報や困りごとは速やかに園長、主任保育士に報告・連絡・相談を徹底し、全職員が共有できる組織体制づくりに努めました。昼礼や職員会議の際に話をしています。
- 年間の職員研修計画に基づき園内外の研修やWeb研修に参加し、保育の質の向上と同時に、法人理念・方針を達成できる職員育成に努めました。また、キャリアパス研修参加の機会を図りました。

- 大学教授等講師を招き研修を行い、保育の質の向上に繋がると共に人権研修についても昨年同様行っています。
- 第三者評価を通して評価項目の見直しを行う中でその意味や保育の質の向上へ繋がりました。

⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援事業

西成区、浪速区、の支援室、保健師等、社会資源と連携しながら進めていきます。また、ホームページや情報誌「はぎっず」にて情報発信を行いました。

- 月に4回地域交流を行います。(10:00～11:00)
第2金曜日…近隣の親子が安心して遊べる憩いの場としての園庭開放を行いました。
第1. 3. 4金曜日…保育体験日。年齢に合ったクラスに親子で参加。
- 「スマイルサポーター」の活動を通し相談事業を行いました。

地域活動

- 隣のみどり苑様がこども食堂を実施、園児の父兄が手伝いに行ったり、職員が食べに行ったり交流が広がっている。(こども食堂のテーブルを園児が作成)
- 地域清掃を行い(5歳児)近隣を園児と一緒にゴミ集めに回りました。月2回
- 就学先の小学校を訪問し、各教室や授業風景を見学し就学に向け意識付けをしました。
- 小学校主催の「金塚祭り」に参加し、小学生と交流しました。
- 高校生の職場体験学習を行いました。
- 西成警察署と連携し、地域防犯活動やクリーンキャンペーンに参加しました。
防犯訓練を西成警察と合同で行いました。
- ボランティア学生の受け入れをしました。
- 飛田警備・NPO 法人大阪災害ボランティアさんの災害イベントに参加交流を行いました。
- 地域の方をお招きし落語家の桂小分枝師匠による落語の寄席をおこないました。

⑨苦情処理

- 特になし

⑩リスクマネジメント

- 健康観察表に体温等記入し体調チェックを行いました。
- 職員はこどもと同時に昼食をとらず、別に昼食をとりました。
- 「よい子ネット」や園内掲示板にて、非常災害時や感染症発生状況等の配信を随時行いました。
また非常災害対応については、緊急連絡先の確認を行い次年度に備えました。
- 危機管理委員会を中心に危機管理マニュアルの見直しを園内研修計画に位置付け、パート職員を含め全職員に行き渡るように周知しました。
- 保健年間計画に基づき、感染症、SIDS対応、誤飲・誤嚥、予防接種、食中毒、救急看護等の園内研修を行いました。特にSIDS、誤飲・誤嚥、アレルギー、誤食、溺水、吐瀉物の処理は役割を決めマニュアル通りシミュレーションして実際に備えました。
- ヒヤリハットを気付く毎に記入し職員会議で話し合うことで怪我や事故を未然に防ぎ子どもが安

全に過ごせるように努めました。

- 災害に備え備蓄品等防災用品の点検を行いました。
- 月1回防災訓練を実施しました。(火災、地震、津波、台風、消火訓練、通報訓練等)
- 救命救急の職員研修(年1回5月・西成消防署)また、総合災害訓練(火災、消火、地震)
- 防犯訓練を行いました(西成警察と連携)
- 熱中症対策の一環でWGBTを毎日調べ外あそびの有無の見える化をしました。またPM2.5 光化学スモックについても数値により外あそびの時間制限の見える化を行い、保育者及び子どもと保護者にも分かるように掲示するようにしました。

⑪その他

- 4月1階ベントィエール設置工事完了
- 6月ビジネスフォン入替え工事完了
- 6月複合機入替え完了
- 6月プール設置完了
- 令和6年9月～2月迄外壁塗装工事完了
- 11月1階エアコン新設工事
- 12月ホールフローリング張替え工事完了(半面)
- 3月日よけシェード設置工事完了 園庭・テラス上